

12分類の特徴

No	グループ	人数	年齢	購買力	人口密度	特徴	世帯総数	割合	購買力指数	人口密度指数
1	高所得シングル地区	1	20~60	高	高	高い購買力を持ち、一人暮らしが多く分布する地区。	4,653,689	8.0	1.5	3.6
2	都市圏ファミリー地区	3~	0~50	高	高	高い購買力を持ち、夫婦+子供からなる世帯が多い地区。	2,775,293	5.0	1.3	3.0
3	標準シングル地区	1	0~60	低~中	低~高	中程度の購買力を持ち、一人暮らしが多く分布する地区。	16,200,088	30	1.1	1.7
4	都市周辺ファミリー地区	3~	0~50	中~高	中~高	やや高い購買力を持ち、夫婦+子供からなる世帯が多い地区。	3,127,288	6.0	1.1	1.8
5	地方ファミリー地区	3~	0~50	低~中	低~中	購買力がやや低く、夫婦+子供からなる世帯が多い地区。	2,982,109	5.0	0.9	1
6	地方外縁ファミリー地区	3~	0~50	低	低	購買力が低く、夫婦+子供からなる世帯が多い地区。	3,149,841	6.0	0.8	0.5
7	若年夫婦地区	2	20~60	低~中	低~中	夫婦共に若く、2人暮らしの世帯が多い地区。購買力は中程度。	4,941,737	9.0	1.1	1.0
8	シニア夫婦地区	2	60~	低~中	低~中	夫婦共に高齢な世帯が多い地区。	4,789,837	8.0	0.9	1.0
9	シニア単身地区	1	60~	低~中	低~中	夫婦共に高齢な世帯が多い地区。	5,613,901	10	0.88	1.3
10	非住宅地区	—	—	中~高	低	都心のオフィス街や、公園、工場などが大半を占め、住宅が非常に少ない地区。	1,464,070	2.0	—	0.08
11	郊外閑散地区	—	—	低	低	中小規模の工場や、河川、農地が大半を占め、居住者が非常に少ない地区。	2,362,763	3.0	—	0.04
12	山間過疎地区	—	—	低	低	山間部が大半を占め、居住者が非常に少ない地区。	1,834,934	2.5	—	0.02

分類ロードマップ

全世帯

夫婦+子供

購買力
人口密度

2. 都市圏ファミリー地区

高

4. 都市周辺ファミリー地区

中～高

5. 地方ファミリー地区

低～中

6. 郊外外縁ファミリー地区

低

单身or夫婦

若年

单身

購買力

1. 高所得シングル地区

高

7. 標準シングル地区

低～中

夫婦

7. 若年夫婦地区

单身

8. シニア夫婦地区

夫婦

9. シニア单身地区

人口の
少ない地域

地価
人口密度

10. 非住宅地区

中～高

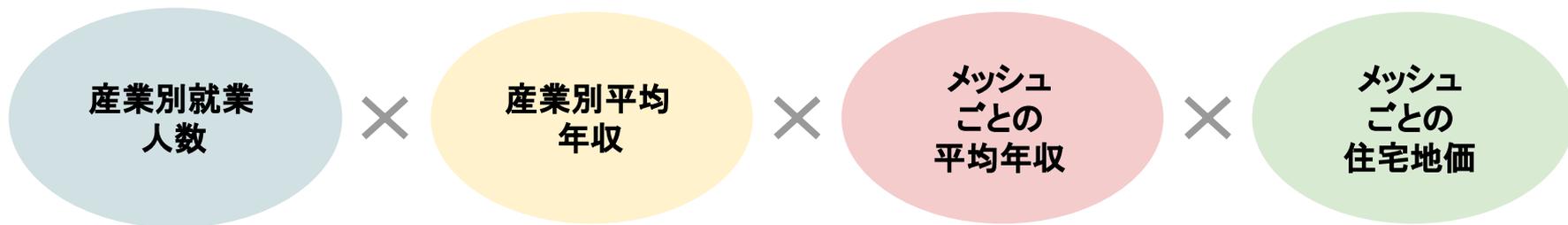
11. 地方閑散地区

低～中

12. 山間過疎地区

低

購買力とは？



＝ **メッシュ※1ごとの推定年収 (購買力)を導出**

国勢調査、税務局、厚生労働省などが発表している様々な公的データから分析

※1 ... 全国を250m四方で、分割したもの

1. 高所得シングル地区

総数 ... 4,653,689世帯

全世帯に占める割合 ... 8%

購買力指数^{※1} ... 1.5

人口密度指数^{※2} ... 3.6

世帯人数 ... 1人

特徴

- 単身世帯が中心の地域であり、インフラ、情報通信、金融、などの高収入である職業に従事する割合が高い
- 全国の中でも上位5%程度の所得を有すると推定される地域
- 都心の中心に多く分布し、利便性が高く、住宅地価もそれぞれの県の平均を、2倍以上超えている
- 購買力指数、人口密度指数ともに全分類の中で最も高く、高層マンションが集結するエリアに多く分布している

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

2. 都市圏ファミリー地区

総数 ... 2,775,293世帯

全世帯に占める割合 ... 5%

購買力指数^{※1} ... 1.3

人口密度指数^{※2} ... 3.0

世帯人数 ... 3人～

特徴

- 夫婦と子供からなる世帯が中心の地域であり、インフラ、情報通信、金融、などの高収入である職業に従事する割合が高い
- 夫婦＋乳幼児～夫婦＋大学生・大人まで、様々な家族構成を持つ
- 全国の中でも上位15%程度の所得を有すると推定される地域
- 都心やその近辺に多く分布し、利便性が高く、住宅地価もそれぞれの県の平均を、1.5倍以上超えている
- 人口密度指数が3.0、購買力指数が1.3と高い水準であり、戸建て、高層マンションが密集するエリアに多く分布している

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

3. 標準シングル地区

総数 ... 16,200,088世帯

全世帯に占める割合 ... 30%

購買力指数^{※1} ... 1.1

人口密度指数^{※2} ... 1.7

世帯人数 ... 1人

特徴

- 単身世帯が中心の地域であり、飲食、教育、サービス業など幅広い職種に従事する人々や、学生の多さが特徴として挙げられる。
- グループ1に含まれない、低～中程度の所得を持つ世帯が多く、全分類の中で最も世帯数が多い
- 都市周辺、地方の駅周辺など、比較的利便性が高いエリアに住む
- 人口密度指数は1.7でありやや高いが、購買力指数、地価ともに平均程度の水準であり、低中層マンションやアパートが密集するエリアに多く分布している

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

4. 都市周辺ファミリー地区

総数 ... 3,127,288世帯

全世帯に占める割合 ... 6%

購買力指数^{※1} ... 1.1

人口密度指数^{※2} ... 1.8

世帯人数 ... 3人～

特徴

- 夫婦と子供からなる世帯が中心の地域であり、飲食、サービス、教育業などに従事する世帯が多い
- 上位15%～40%程度の購買力を持つと推定される地域
- 都市周辺のエリアに多く分布し、公共交通機関を利用する人々が多い
- 購買力指数は1.1であり、全国平均程度の水準
- 人口密度指数に関して、1.8と平均よりもやや高く、戸建てや中低層マンションが密集するエリアに多く分布している

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

5. 地方ファミリー地区

総数 ... 2,982,109世帯

全世帯に占める割合 ... 5%

購買力指数^{※1} ... 0.9

人口密度指数^{※2} ... 1.0

世帯人数 ... 3人～

特徴

- 夫婦と子供からなる世帯が中心の地域であり、建設、製造、運輸業などに携わる世帯が多い
- 上位40~60%程度の購買力を持つと推定される地域
- 地方の駅やその周辺に分布し、近隣の市に通勤・通学する世帯が多い
- 購買力指数は0.9と、全国平均よりもやや低い水準
- 人口密度指数は全国平均程度であり、戸建てや、マンションがやや分散しているエリアに多く分布している

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

6. 地方外縁ファミリー地区

総数 ... 3,149,841世帯

全世帯に占める割合 ... 6%

購買力指数^{※1} ... 0.8

人口密度指数^{※2} ... 0.5

世帯人数 ... 3人～

特徴

- 夫婦と子供からなる世帯が中心の地域であり、農林業、建設、製造、運輸業などに携わる世帯が多い
- 上位60%～程度の購買力を持つと推定される地域
- 地方の郊外に多く分布し、その近辺に通勤、通学する世帯が多い
- 購買力指数は0.8であり、平均よりも低い水準
- 人口密度指数は0.5と低く、戸建てが散財するエリアに多く分布している

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

7. 若年夫婦地区

総数 ... 4,941,737世帯

全世帯に占める割合 ... 9%

購買力指数^{※1} ... 1.1

人口密度指数^{※2} ... 1.0

世帯人数 ... 2人

特徴

- 若年層の夫婦のみからなる世帯が中心の地域であり、飲食、教育、サービス業など幅広い職種に従事する人が多い
- 購買力指数は、1.1であり、全国平均程度の水準
- 人口密度指数は全国平均程度であり、戸建てや、マンションがやや分散しているエリアに多く分布している
- 家具などの生活用品への興味関心が強い

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

8. シニア夫婦地区

総数 ... 4,789,837世帯

全世帯に占める割合 ... 8%

購買力指数^{※1} ... 0.90

人口密度指数^{※2} ... 1.0

世帯人数 ... 2人

特徴

- 高齢層の夫婦のみからなる世帯が中心の地域
- 子育てを終え、2人で生活している65歳以上の夫婦の割合が高い
- 高齢化が進行しつつある地域であり、購買力指数は平均をやや下回っている
- かつてグループ5に属していたエリアが多く、戸建てや、マンションがやや分散しているエリアに多く分布している

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

9. シニア単身地区

総数 ... 5,613,901世帯

全世帯に占める割合 ... 10%

購買力指数^{※1} ... 0.88

人口密度指数^{※2} ... 1.3

世帯人数 ... 1人

特徴

- 高齢層の単身世帯が中心の地域
- 高齢化が進行しつつある地域であり、購買力指数は平均を下回っている
- 地方都市周辺の高齢化地域から、山間地域まで幅広い場所で見られる
- 人口密度指数は1.3と、平均を上回る水準であり、低中層マンションやアパートが密集するエリアから、アパートが散在しているエリアまで広く分布している

※1 ... 推定購買力の全国平均を1としたときの指標

※2 ... 人口密度の全国平均を1としたときの指標

10～12. 人口が少ない地域

10. 非住宅地区 総数 ... 1,464,070世帯 全世帯に占める割合 ... 2% 人口密度指数 ... 0.08

- 都心のオフィス街や、公園、工場などが大半を占め、人口が非常に少ない
- 都心のオフィスの上層に居住地がある場合など、高い購買力を持つ世帯も混在している

11. 郊外閑散地区 総数 ... 2,362,763世帯 全世帯に占める割合 ... 3% 人口密度指数 ... 0.04

- 中小規模の工場、倉庫、河川、農地が大半を占め、人口が非常に少ない

12. 山間過疎地域 総数 ... 1,834,934世帯 全世帯に占める割合 ... 2.5% 人口密度指数 ... 0.02

- 山間部、農地が大半を占め、人口が非常に少ない
- 高齢化が進行している場合が多い